

ダイヤモンド・プリンセスが北海道を応援！ ～復興支援の横断幕を掲げて道内各港へ入港～

プリンセス・クルーズ（米国）が運航する「ダイヤモンド・プリンセス（11万5,875ト）」が、先月発生した北海道胆振東部地震で被災した北海道を応援するため、復興支援の横断幕を掲げて道内各港へ入港しました。

横断幕は高さ約1.5m、幅約20mで、「北海道の復興を応援しています We are With you Hokkaido」というメッセージが記載されており、余白部分は日本や欧米からの乗船客、乗組員らによる激励の手書きメッセージで埋めつくされていました。

横断幕を掲げた同船は、9月19日に震災後初めて函館港へ寄港、9月27日には釧路港へ早朝にもかかわらず多くの市民の歓迎を受けながら入港しました。

9月30日には小樽港に入港、寄港中には特別イベントとして、同船の小樽港寄港5周年を祝うとともに、小樽から「元気な北海道」を発信するため、「小樽潮太鼓保存会」による道内最大級の「スーパー大太鼓」も使用した、大人数による「大打演」が行われました。

10月1日の函館寄港が同船の今年最後の道内寄港となったことから、函館市に横断幕が贈呈され、11月2日まで函館市役所本庁舎の2階吹き抜け部分に展示されています。

今後はBAYはこだて内のギャラリーや渡島総合振興局、北海道庁本庁での展示をめざしているとのことです。

道内各港に毎年寄港しており、道民にも親しまれている「ダイヤモンド・プリンセス」からの心温まる応援メッセージが、より多くの人目に触れ、道民への励ましや復興のPRにつながっていくことを期待します。

【釧路港での様子】



復興支援の横断幕を掲げて入港したダイヤモンド・プリンセスを歓迎の横断幕でお出迎え

【小樽港での様子】



ダイヤモンド・プリンセスをバックに約40名の小樽潮太鼓保存会のメンバーが「潮太鼓大打演」を披露。

演奏の合間には乗船客の方々に法被を着て太鼓をたたき体験をしていただきました。

【函館港（10月1日）での様子】



10月1日に函館港へ入港した際に、横断幕の寄贈セレモニーが行われ、ダイヤモンド・プリンセスのジェナロ・アロマ船長から片岡格福市長へ横断幕が手渡されました